

### 取付方法 > つっぱり式 (ツイスト2フィット)



#### 取り付けの前に

チェーンの反対側は、伸縮するバネになっています。  
伸縮しない場合は、ダイヤルを手前に向かって回し、図1のように「ねじの溝をすべて収納した状態 (バネが伸縮する状態)」にします。

図2のように、つっぱり部品のねじの溝がすべて見えている状態ではバネが伸縮しないため、窓枠内に入れ込むことができません。

※図は右側コントロールの場合の例です。左側コントロールの場合はダイヤルを奥に向かって回し、ねじの溝を収納します。



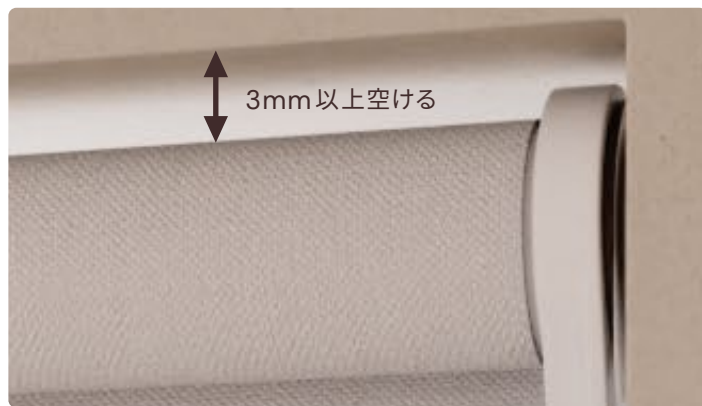
## 1. ロールスクリーンを窓枠内に入れる

チェーンとは反対側の伸縮する部品を壁に押し当て、バネを縮めた状態でロールスクリーンを窓枠内に入れ込みます。

※図は右側コントロールの場合の例です。



バネを縮めた状態でチェーン側を上げ、ロールスクリーンがまっすぐ水平になるように調整します。  
このとき、生地が窓枠の天井に当たった状態で取り付けると操作不良の原因となるため、生地と窓枠の天井との隙間を3mm以上空けた状態にします。



## 取付方法 > つっぱり式 (ツイスト2フィット)

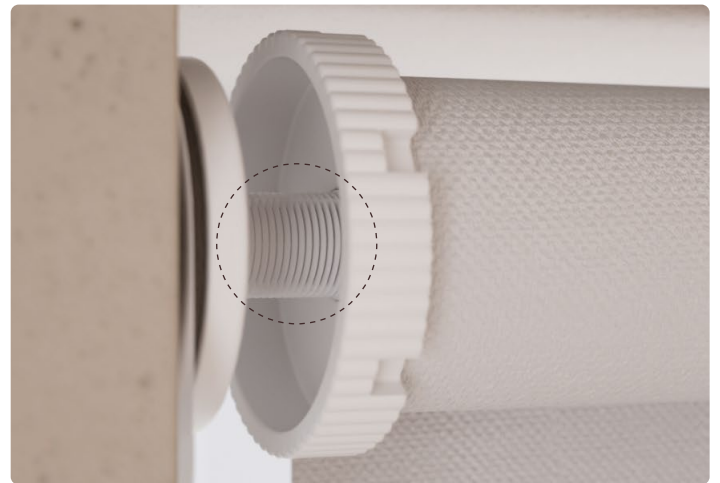
### 2. ロールスクリーンを固定する

ダイヤルを奥に向かって回し、固定します。  
ダイヤルが回らなくなる位置までしっかりと締めてください。

※図は右側コントロールの場合の例です。左側コントロールの場合はダイヤルを手前に向かって回し、固定します。

ダイヤルが回らなくなる位置まで締めた後に、ねじの溝部分がすべて出ていることを確認してください。

ねじの溝部分が出ている状態ではバネの伸縮が効かなくなり、ロールスクリーンがしっかりと窓枠内に固定されます。



## チェーン式ブラインドを安心してご使用いただくために

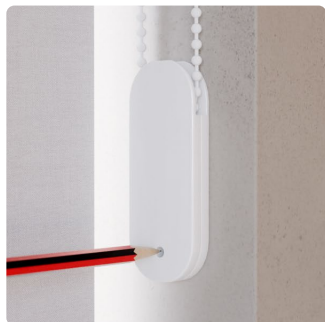
操作チェーンは小さなお子様やペットに絡まったり、自分で巻きつけたりする危険性があります。チェーンがたるまない位置で、付属のコードクリップを壁または窓枠に固定してお使いください。



### コードクリップの取付方法

1.

チェーンを下に垂らして張った状態で、ご希望の位置にペン等で印を付けます。



2.

印に沿って穴を空け、ビスで固定します。



操作方法 > チェーン式

**1.** スクリーンを下げる

奥側のチェーンを真下に向かって引くと、スクリーンが下がります。



**2.** スクリーンを上げる

手前側のチェーンを真下に向かって引くと、スクリーンが上がります。

